



週報

今月のテーマ

第1578回例会

2019年7月18日 Vol.34/No.3

■本日の例会 / 第1579回 令和元年7月25日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- 年度始め懇親会 杉の子 18:30～

【出席率状況報告】

- ・会員数…………… 55名
- ・出席者…………… 37名
- ・欠席者…………… 18名
- ・出席率…………… 67.33%
- ・7/4の修正出席率… 70.37%

■会長挨拶



篠原英介 会長
東京五輪まであと1年になりました

今週は1年後となったオリンピック開催にちなみ、前回大会の聖火リレーの話題をご紹介します。

その昭和39年の東京大会の聖火リレーは、3つの起点から4つのルートで日本中を廻りました。このうちのひとつが宮崎県、平和台公園・平和の塔前を起点として、華々しくスタートしました。聖火が国内で初めての夜を過ごしたとされる聖火台は、今もひっそりと公園内に行んでいます。(写真参照)

ちなみに、この公園と平和の塔は、さらに前の幻の東京五輪(昭和15年)の誘致活動とともに、皇紀2600年記念事業として設置されたものでしたから、宮崎市内では起点に最も相応しい場所だったと言えます。

およそ10日間かけて4つのルートを廻った聖火は、東京都庁前に集結しました。その後都内を巡り最終ランナーである広島県出身の無名の陸上選手に託されました。坂井義則さんです。最終ランナーですから、当初から多数の著名人候補者がいたのですが、ギリギリの段階で、この広島に原爆が投下された当日に生まれた大学生ランナーに変更されたそうです。当時「原爆キッド」と世界中で紹介され、一躍時の人になったそうです。

過去のメダリストや首長らを差し置いた坂井さんは、軽やかに長い階段を駆け上がり、大きく立派な聖火台に火を灯しました。

さて、この聖火台、まったく知られていないのですが、ロータリアンの寄贈品です。

この五輪に溯ること3年、日本で初めて開催されたロータリー世界大会の成功を記念し、東京RCが中心となり、東京・横浜の22のクラブが寄贈しました。この成功とは、参加国数・参加者数ともにそれまでの

最高となる記録的な大会だったことを指します。

その後聖火台は、国立競技場の立て替えに伴い移転保存となりました。これを機に、東北の震災からの復興のシンボルとして、石巻市～盛岡市～福島市と展示され、製造された川口市へ里帰りしたのち、新競技場に記念展示されるそうです。

当時のロータリアンの地味な貢献は、各クラブの例会など内部で語り継がれ、少し形は違いますが、その後の札幌冬季五輪・長野冬季五輪においても、聖火台の寄贈に携わっています。



■幹事報告



江口健一 幹事

交換留学生募集のチラシをボックスの中に入れてます

7月14日(日)にRLIロータリーリーダーシップ研究会がありました。中央ロータリークラブからは、役員として秦会員 運営委員長として鳥山会員 運営委員として西橋会員が参加して頂きました

RLI参加者は、篠原会長 西橋会員

坂本会員 小村会員 志多会員 そして私の6人で日大高校にて学んで来ました 非常に時間が経つのが早く有意義な1日を過ごしました

是非9月22日開催されますので沢山の会員の参加宜しくお願い致します。

■ インターアクト委員会

岡田圭史 委員長



7月23日(火)から7月31日(水)まで国際交流派遣事業で海洋高校の2人のインターアクターが台湾龍山RCの方に短期交換留学致します。つきましては、お見送りをお願いをさせていただきます。23日の朝8時に海洋高校にお集まり頂けると助かります!盛大に見送りたいと思いますのでご参加の程よろしくお願い致します。ちなみに迎えは31日17時35分宮崎空港着となっておりますので17時20分集合でのお願いになります。いつもお願いばかりですみません。

■ 元米山奨学生

バトムンク さん



■ 出席委員会

佐藤龍三郎 委員長



活動方針

出席率が宮崎県中央グループのロータリークラブの中でも最低です。
今年の1月61.3 2月61.3
3月61.6

4月66.5 (クラブ出席率)

確定でも1月72.6 2月72.7 3月72.4

4月76.6

クラブ出席率を75%確定を80%に設定します。

これで最下位から脱出いたします。

2. 活動計画

まず、できることからメイクアップ実施の強化。フェローシップ高橋委員長との協調で夜間例会の参加者を40名目標 出席委員は、私佐藤、副委員長松岡会員、長友幸一郎会員、外山会員、黒田会員、宮坂会員の豪華メンバーで運営いたします。

3. 予算

30,000円

皆さんの協力が必要です。宜しくお願いします。

■ クラブ会報委員会

高野広美 委員長



今年度クラブ会報委員会の委員長をさせて頂く高野です。

メンバーは私の他に志戸本副委員長、長友久人会員、甲斐会員、佐々木会員、布谷会員の6名で、本日

も全員出席です。

活動としては週報の作成が主になりますが、前年度を踏襲した構成での発行となります。その中で、各例会の内容を掲載するのは勿論のこと、各委員会の活動状況等も掲載できればと考えております。また、卓話等発表者の早めの原稿収集に努め全員参加で作成していきます。顔写真も中には下向きに写っている方もおられますので、時にはカメラ目線での発表をお願いいたします。

1年間宜しくお願いいたします。

■ 職業分類・増強委員会 長岡紀行 委員長



今年度の方針の前に昨年度の訂正で6月31日に退会者が出たので昨年度は純増2名で55名体制でした。今年度もこの委員会の委員長をやれということでしたので、昨年度同様60名体制にしたいと思っています。純増5名を目標に皆様のご協力をお願いします。尚、委員会構成は委員長私・副江島会員委員は会員全員と成っておりますので、よろしくお願いします。

■ 会員選考委員会

平松 寛 委員長



1. 活動方針

職業分類・増強委員会と情報を共有し、多くの会員候補者を選考する。

2. 活動計画

推薦候補者が提出されたら、速やかに委員会を開催する。(入会推薦者は推薦理由を可及的詳細に提示して頂くようお願いする。)

■ 米山記念奨学委員会

黒木雄一 委員長



米山記念奨学委員会の活動方針以下は、以下の2点について会員の皆様のご参画、ご協力をお願いしたいと思います。

まず、最初の方針は、篠原会長が基本方針の中で、ロータリーは世界的な団体であり、「グローバル」や「ボーダレス」など国際化の機運の中で、世界につながる身近な存在として、もっと広く認知されるべきであると述べられていることに関連します。ご承知のように米山記念事業の最大の特徴は、経済的支援にとどまらず、交流を目的にした世話クラブ・カウンセラー制度」にあります。今年は姜さんの世話クラブとして、会員の皆様が、親睦、交流を通してグローバル化、ボーダレス化の体験を深めていただきたいと思います。次の活動方針は、米山奨学記念事業の意義を踏まえて、皆様に寄付を募ることです。会員の皆様に事業

の現状と地区の要請をご理解いただき、会員一人一人当たり一万五千円の年間寄付目標額を達成できますようお願いしたいと思います。以上、ご協力方、よろしくお願い申し上げます；

■会員卓話

宮阪隆彦 会員



6月に入会させて頂いた宮阪です。ロータリークラブに入るのは宮崎ロータリーに続く2度目です。また、ご記憶のある方もいらっしゃるかとは思いますが、昨年10月3日に「金融リテラシーを考える」とのタイトルでこのロータリーで卓話もさせて頂いています。何か不思議な縁を感じています。

今日は頂いた時間の中で簡単に自己紹介させていただきます。無防備に日焼けをしてしまったの登壇ですが、生まれは神奈川県藤沢市、自宅は東京にあります。昨年3月に32年間務めた日本銀行を退職し、昨年4月から宮崎銀行に再就職しました。大きな判断でしたが迷いはなかったです。また宮崎の優しい人柄、ゴルフ環境が気に入ったからという当たり前の理由からの選択でもなく、宮崎の経済のポテンシャル(可能性)を感じていたので、人生最後の仕事のチャレンジの場に相応しいという思いで宮崎の地を選びました。現在単身赴任ですが、国内最後移住地と考えていますので、いずれ家内も宮崎に連れてきたいと考えています。家族は愛犬を含め5人です。愛犬家です。仕事としては大坪さんの後任として本店営業部にいます。日々取引先の方々と接する機会が多いです。多いのか少ないのかわかりませんが、2か月間で名刺を800枚使いました。

最近の出来事を振り返りますと、昨日は医師会の会合でここにいらっしゃる秦先生と同じテーブルでした。三連休は、最後の月曜日に娘の結婚式がありました。感動しましたが、それ以上に式が滞りなく終了しホッとした気持ちでもありました。三連休中日は都市対抗野球に出場した当地の梅田学園の応援に東京ドームにいました。三連休初日は、佐賀県にボートの国体九州ブロック予選の引率で行っていました。教え子の宮崎大学医学部の女子学生が見事、本戦(茨木国体)出場の権利を得ました。このように慌ただしく過ごしていますが、仕事、仕事外の両面で充実した日々を過ごしています。

さて、改めて宮崎の経済について申し上げますと、やはり経済規模をもっと拡大していく必要があると思っ

ています。先ほど申し上げたようにそのポテンシャルがあると考えています。基本的に経済は、人口の増加と生産性の向上により大きくなっていく訳だけに、人口の減少の流れを食い止める必要があります。そして域内経済の自律的回転を促すことが大切です。その意味で域内の設備投資にもう少し動きが欲しいと考えています。こうした宮崎経済の拡大は宮崎銀行にとってもとても大切なことです。ご存知の通り銀行をみる目は厳しいです。利益を上げて株価が上がらないように、市場関係者からは成長性の乏しい産業とされています。それだけに宮崎県経済を大きくすることが必須です。また、昨今、銀行商売はフィンテック企業の台頭もあり脅かされていると言われてます。それだけに、そうした新興勢力の技術にも対抗できるよう、今後、色々な工夫が求められていくと考えています。フロント最前線の部下に対しては、常日頃から、営業の中でセミマクロ的なことも考えながら付加価値を付けよ、顧客の懐に入れ、顧客への深い想いを持ってと言っています。これが地域銀行の生命線だと考えています。

最後に趣味はボート。生き甲斐でもあります。中学時代から夢であったボートに取り組んで既に40年が経過しようとしています。学生時代は1回だけ全日本で優勝したことがあります。それ以外は勝ちたい試合を全て負けていて、まだ自分の中で負けを引きずっています。人生の最後は海外でマスターズボートの人生を送りたいと考えています。皆さまご清聴有難うございました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。以上

■出席委員会報告

佐藤龍三郎 委員長

◆7/4メイクアップ者名 (敬称略)

黒木雄一、高野広美

ハッピーボックス (敬称略)

●田中 寿…結婚祝いありがとうございます。今年で年金世代に突入です。もう少し頑張ります。

●松浦愛子…去年の誕生日祝いのコメントに「そろそろ最後かな」と書きましたが、ようやく現実味を帯びてきました。私も今年で80歳 切りのいいところで、免許証を返納しようと思っています。

●長岡紀行…誕生日のお祝い有難うございました。

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0806 広島1丁目3番地3 秀豊ビル 4階 TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-9170
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/山川 力 副会長/篠原英介・藤原昭公 幹事/篠原英介